



平成 21 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社N F Kホールディングス
代表者名 代表取締役社長 城 寶 豊
(J A S D A Q ・ コード 6494)
問合せ先 役職・氏名 取締役 田中 耕
電話 045-575-8000

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 5 月 14 日発表の「平成 21 年 3 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、平成19年3月期においては2,193百万円の当期純損失を計上したことを理由として、また、平成20年3月期においては449百万円の営業損失及び4,481百万円の当期純損失を計上し、営業キャッシュフローも3,473百万円のマイナスとなったことを理由として、平成19年3月期通期決算短信以降、「継続企業の前提に関する注記」の記載をしておりました。

当社グループでは当該状況を解消すべく、グループ事業の再編成と不採算事業の切り離し当社のコアビジネスである燃焼装置関連事業に集中 経営体制の強化とコーポレート・ガバナンスの再構築といった施策を計画し実行してまいりました。

その結果、平成 21 年 3 月期 通期連結業績において黒字化を達成し、営業キャッシュフローのマイナスについても大幅に改善しております。

当社の主力子会社である日本ファーンエス株式会社は、平成 20 年 3 月期の単独決算より営業利益、経常利益、当期純利益ともに黒字化を達成しており、当社グループ全体においても黒字体質への転換は確実に実現していること、営業キャッシュフローについてはマイナスではあるものの、大型受注案件に対する仕入代金等の先行支払いによるものであり、あくまでも一時的であると考えられること、また、資金面においても金融機関とのクレジットライン・担保余力が十分あることなどから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しないと考えております。

上記により、平成 21 年 3 月期決算短信において、当該注記の記載を解消いたしました。

今後も当社は業績の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援の程、何卒よろしくお願い致します。

以 上